平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名　みらかホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4544　URL　http://www.miraca-holdings.co.jp/
代表者　(役職名) 代表執行役社長　(氏名) 鈴木　博正
問合せ先責任者 (役職名) 執行役　(氏名) 工藤　志郎　TEL 03-5909-3337

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	49,205	17.0	7,400	22.2	7,568	24.3	4,495	22.8
24年3月期第1四半期	42,052	1.6	6,056	△0.4	6,089	△0.9	3,659	17.8

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　953百万円　(△72.1%)　24年3月期第1四半期　3,414百万円　(28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	77.15	77.04
24年3月期第1四半期	62.84	62.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	200,354	113,386	56.4	1,939.95
24年3月期	207,868	114,523	54.9	1,958.36

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　113,058百万円　24年3月期　114,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	35.00	―	35.00	70.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		37.00	―	37.00	74.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	95,500	13.9	12,600	5.6	12,300	1.9	6,800	△6.0	116.69
通期	190,000	8.3	24,000	3.4	23,400	3.2	13,000	5.6	223.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料の3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」を参照してください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	58,518,666 株	24年3月期	58,510,166 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	239,813 株	24年3月期	239,693 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	58,273,836 株	24年3月期1Q	58,235,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。
(四半期決算補足説明資料の入手方法)
四半期決算補足説明資料は平成24年8月2日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における世界経済は、新興国における成長が鈍化する中、欧州における債務不安が深刻化するなどリスク含みの状況で推移しております。

わが国においては、東日本大震災からの復興需要や個人消費の回復が見られた一方、欧州債務不安や円高の長期化から、先行き不透明な状況が続いております。

臨床検査業界におきましては、引き続く価格低下圧力及び同業他社との競争激化を反映して、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループといたしましてはさらなる成長を遂げるための経営諸施策に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果といたしまして、当第１四半期連結累計期間の売上高は49,205百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。受託臨床検査事業において平成23年11月にCaris Diagnostics, Inc.（現・Miraca Life Sciences, Inc.）及びその子会社を傘下に有するCaris Life Sciences, Inc.（現・CDx Holdings, Inc.）を子会社化したこと及び既存事業において売上増が見られたことが主要因で増収となりました。利益面では、国内の臨床検査薬事業及び受託臨床検査事業において売上増に伴う増益が見られたほか、海外の臨床検査薬事業子会社において一過性要因による増益が見られたことから、営業利益は7,400百万円（前年同四半期比22.2%増）、経常利益7,568百万円（前年同四半期比24.3%増）、四半期純利益4,495百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。

（セグメントの業績）

■臨床検査薬事業

国内のCL-EIA系製品が増収となったこと及び海外子会社において開発受託契約の合意解約に伴う精算金収入（返還不要の契約対価残額の収入）が一過性で売上計上されたことが主要因で増収となりました。利益面では、製品の販売増による利益増のほか、上記一時的収益による影響から増益となりました。これらの結果、売上高は11,066百万円（前年同四半期比18.2%増）、営業利益は3,260百万円（前年同四半期比54.8%増）となりました。

■受託臨床検査事業

平成23年11月にCaris Diagnostics, Inc.（現・Miraca Life Sciences, Inc.）及びその子会社を傘下に有するCaris Life Sciences, Inc.（現・CDx Holdings, Inc.）を子会社化したこと、また国内において新規項目にかかる増収及び震災影響からの回復による増収が見られたことが主要因で増収となりました。利益面では、国内の受託臨床検査事業において売上増による利益増が見られたことから増益となりました。これらの結果、売上高は31,136百万円（前年同四半期比21.3%増）、営業利益は3,226百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

■ヘルスケア関連事業

滅菌事業につきましては、継続して受託病院の新規獲得に努めた結果、売上高は3,637百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

治験事業につきましては、引き続き新規案件の獲得に注力したことから、売上高は1,697百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

一方、食品検査事業及び環境検査事業を終了したことにより、一部で減収及び撤退費用が発生しました。

これらの結果、ヘルスケア関連事業の売上高は7,002百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益は903百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7,514百万円減少し、200,354百万円となりました。その主な要因は、のれんの減少2,490百万円、有価証券の減少2,000百万円、顧客関連無形資産の減少1,187百万円、現金及び預金の減少900百万円及び有形固定資産の減少837百万円があったためであります。

当第１四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ6,377百万円減少し、86,967百万円となりました。その主な要因は、流動負債その他の増加2,421百万円があった一方、未払法人税等の減少3,413百万円、長期借入金の減少2,012百万円、賞与引当金の減少1,728百万円及び固定負債その他の減少1,465百万円があったためであります。

当第１四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,136百万円減少し、113,386百万円となりました。その主な要因は、当第１四半期純利益4,495百万円があった一方、為替換算調整勘定の減少3,503百万円及び配当金の支払2,039百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5％増加し、56.4％となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,862百万円減少し、21,866百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は3,363百万円（前年同四半期2,896百万円の獲得）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益7,439百万円、その他の流動負債の増加2,775百万円及び非資金支出項目である減価償却費2,602百万円があった一方、法人税等の支払額5,662百万円、賞与引当金の減少1,705百万円及び売上債権の増加1,588百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は1,536百万円（前年同四半期2,077百万円の使用）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,004百万円、差入保証金の差入による支出387百万円及び無形固定資産の取得による支出247百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は4,369百万円（前年同四半期2,051百万円の使用）となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出2,026百万円及び配当金の支払額2,020百万円があったためであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、平成24年５月８日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

平成25年３月期の連結業績予想にかかる売上高は、受託臨床検査事業においてCaris Diagnostics, Inc.（現・Miraca Life Sciences, Inc.）等を子会社化したこと及び国内新規項目の拡販等による販売増を見込んでいることなどから、対前年同期比増収となる予定であります。

利益面では、臨床検査薬事業において研究開発費や海外での投資など一定の先行的費用を見込む一方、各事業における増収に伴う利益増及び受託臨床検査事業における継続的な業務効率化などにより、営業利益、経常利益、当期利益ともに対前年同期比増益の予定であります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,866	19,965
受取手形及び売掛金	34,656	35,614
有価証券	4,000	2,000
商品及び製品	4,798	4,128
仕掛品	4,798	4,712
原材料及び貯蔵品	4,098	4,108
その他	8,592	8,895
貸倒引当金	△1,590	△1,314
流動資産合計	80,219	78,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,192	16,720
工具、器具及び備品（純額）	6,753	6,376
土地	8,932	8,929
その他（純額）	4,547	4,562
有形固定資産合計	37,426	36,588
無形固定資産		
のれん	47,907	45,416
顧客関連無形資産	22,805	21,617
ソフトウエア	3,881	3,466
その他	6,141	5,501
無形固定資産合計	80,735	76,002
投資その他の資産		
投資有価証券	1,607	1,522
その他	7,948	8,191
貸倒引当金	△67	△63
投資その他の資産合計	9,487	9,650
固定資産合計	127,648	122,241
資産合計	207,868	200,354

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,540	9,938
1年内償還予定の社債	230	230
短期借入金	6,910	6,900
1年内返済予定の長期借入金	4,095	4,081
未払金	5,085	5,614
未払法人税等	4,677	1,263
賞与引当金	4,353	2,624
その他	8,466	10,888
流動負債合計	44,359	41,542
固定負債		
社債	10,255	10,165
長期借入金	16,237	14,225
退職給付引当金	6,058	6,061
資産除去債務	674	679
その他	15,760	14,294
固定負債合計	48,986	45,425
負債合計	93,345	86,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,770	7,784
資本剰余金	23,492	23,507
利益剰余金	81,764	84,221
自己株式	△518	△519
株主資本合計	112,508	114,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	△10
為替換算調整勘定	1,578	△1,925
その他の包括利益累計額合計	1,606	△1,936
新株予約権	406	328
少数株主持分	2	－
純資産合計	114,523	113,386
負債純資産合計	207,868	200,354

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	42,052	49,205
売上原価	25,753	29,287
売上総利益	16,298	19,917
販売費及び一般管理費	10,242	12,516
営業利益	6,056	7,400
営業外収益		
受取利息	8	4
受取配当金	19	47
持分法による投資利益	8	3
資産除去債務戻入益	－	290
その他	79	94
営業外収益合計	115	439
営業外費用		
支払利息	22	145
賃貸費用	10	10
為替差損	20	55
その他	28	59
営業外費用合計	82	271
経常利益	6,089	7,568
特別利益		
固定資産売却益	43	9
国庫補助金	31	－
新株予約権戻入益	－	95
その他	－	14
特別利益合計	74	118
特別損失		
固定資産除却損	45	34
減損損失	－	214
その他	221	0
特別損失合計	266	248
税金等調整前四半期純利益	5,897	7,439
法人税、住民税及び事業税	1,523	1,846
法人税等調整額	713	1,096
法人税等合計	2,237	2,943
少数株主損益調整前四半期純利益	3,659	4,495
四半期純利益	3,659	4,495

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,659	4,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△38
為替換算調整勘定	△252	△3,503
その他の包括利益合計	△245	△3,542
四半期包括利益	3,414	953
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,414	953

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,897	7,439
減価償却費	2,322	2,602
のれん償却額	272	760
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,919	△1,705
退職給付引当金の増減額（△は減少）	32	3
貸倒引当金の増減額（△は減少）	57	△231
受取利息及び受取配当金	△28	△51
持分法による投資損益（△は益）	△8	△3
支払利息	22	145
売上債権の増減額（△は増加）	△907	△1,588
たな卸資産の増減額（△は増加）	320	569
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△905	△707
仕入債務の増減額（△は減少）	△436	△531
未払消費税等の増減額（△は減少）	414	430
その他の流動負債の増減額（△は減少）	1,839	2,775
その他の固定負債の増減額（△は減少）	62	△857
その他	144	102
小計	7,180	9,153
利息及び配当金の受取額	28	51
利息の支払額	△23	△179
法人税等の支払額	△4,290	△5,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,896	3,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,666	△1,004
無形固定資産の取得による支出	△307	△247
差入保証金の差入による支出	△45	△387
子会社株式の取得による支出	－	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	11	－
その他	△69	107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,077	△1,536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△31	△2,026
株式の発行による収入	27	24
配当金の支払額	△1,785	△2,020
その他	△261	△347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,051	△4,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△108	△320
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,340	△2,862
現金及び現金同等物の期首残高	33,076	24,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,735	21,866

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	臨床検査薬事業	受託臨床検査事業	ヘルスケア関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,361	25,669	7,021	42,052	－	42,052
セグメント間の内部売上高又は振替高	797	508	62	1,367	△1,367	－
計	10,158	26,177	7,083	43,419	△1,367	42,052
セグメント利益	2,105	2,920	997	6,023	32	6,056

（注）１．セグメント利益の調整額32百万円は、セグメント間取引消去467百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△434百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	臨床検査薬事業	受託臨床検査事業	ヘルスケア関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,066	31,136	7,002	49,205	－	49,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	803	628	83	1,515	△1,515	－
計	11,869	31,764	7,086	50,720	△1,515	49,205
セグメント利益	3,260	3,226	903	7,390	9	7,400

（注）１．セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去540百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△530百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。